



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

大阪の高校生 修学旅行で歯舞にホームステイ

北隣協が推進している「北方領土を目で見る運動」の修学旅行等誘致事業で、大阪教育大付属高天王寺校舎の2年生34人が10月5日～6日、修学旅行で歯舞地区を訪れました。生徒たちは北方館を視察した後、7グループに分かれて漁業者宅や番屋にホームステイしました。

夕食では、サンマやイクラ、カニ、ホタテ、エビなど歯舞海産物をふんだんに使った「浜の手料理」がずらりとテーブルに並びました。生徒たちは「普段は寿司などでしか海産物を食べる機会がない」と話し、「どれも全部美味しい」と感激した様子でした。

翌日は歯舞市場のセリを見学し、タラやカレイ、キンキなど水揚げした魚の説明を受けた後、漁協食堂で朝食をとりました。また、歯舞漁協の伊藤専務による組合の概況や北方領土などの講習、根室市ウニ種苗生産センター見学などを通して知見を深めました。

同校の来根は9回目ですが、来年は修学旅行先を変更するため今年で最後になる見通しです。こうした交流人口を増やす取り組みは、浜の活性化につながります。30人規模の受け入れ態勢が整ったので、今後は他校の受け入れなども検討し、継続して取り組みたいと思います。



民泊先での夕食風景



民泊先での夕食風景



市場見学



セリ見学



歯舞漁協食堂で朝食



伊藤専務による講習



ウニ種苗生産センター見学

北海道庁赤れんが庁舎前で根室さんまをPR

9月10日～11日の2日間、北海道庁赤れんが庁舎前において『根室さんま直送市』が開催されました。歯舞漁協からも職員2名が参加し、「トロさんま」の炭火焼きや刀汁のほか、各種昆布製品や新商品の「はばまい昆布しょうゆ贅沢仕上げ」も販売しました。

会場には販売開始の10時から続々とお客さんが集まり、お昼時には1時間の待ち時間となるほどの盛況ぶりです。さんまを焼いても焼いても追い付かないほどでした。さんまを食べたお客さんからは「やっぱり根室のさんまは美味しい」と嬉しい言葉をかけていただき、根室さんまの人気の高さを実感できたイベントとなりました。



長い行列ができました



食事スペース



歯舞の販売コーナー

「ねむろ水産フェスタ」を開催

9月11日、日本労働組合総連合会の「2016 平和ノサブ集会」が納沙布岬・望郷の岬公園で開催され、全国各地から組合員が集いました。

歯舞漁協では今年も約600名分の昼食を委託され、「ねむろ水産フェスタ」と称して提供しました。

会場は歯舞漁港屋根付き岸壁で、メニューは花咲蟹のてっぽう汁、さんまの炭火焼き、おにぎり、煮えび、結び昆布、つぶ、たらフライ、ホタテのバター焼き等です。さんまは炭火を使い各自で焼いて食べる形式にし、仲間同士で炭火を囲んで歓談する姿が見られました。

歯舞の海の幸をふんだんに使ったメニューに、参加者からは「美味しい」との声があり、歯舞ブランドを全国にPRする絶好の機会となりました。



歯舞小3・4年生 花咲市場を見学

10月7日、歯舞小中学校の小学3・4年生が、社会科見学で花咲港を見学しました。

この日は入港船がなく、水揚げされる新鮮なさんまを見ることはできませんでしたが、市場職員がさんま船・市場内を説明しました。

児童たちは真剣に説明を聞き、メモをとる姿や積極的に質問する姿がみられ、地元産業への理解と関心を深めるきっかけになったのではと思います。

今後も子供たちが地元産業に興味を持てるような取組みを続けていきます。



さんま船の見学



市場の見学

編集・発行・お問い合わせ

編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産振興課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

